

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	御坊市立河南中学校	岩國隆宏
学校所在地		
〒 644 - 0025 和歌山県御坊市塩屋町北塩屋300 tel 0738(22)0749 fax 0738(23)4700		
担当者名		担当教科
藤 大貴／中村雅人(兼任)／柴田美樹子		1 学年担当・数学／音楽／家庭
〔学校の概要〕○全校生徒91人(1年27名・2年48名・3年16名)		
☆学校教育目標「知・徳・体 調和のとれた生徒の育成」		
御坊市街地の南東部(日高川の東側)に校区がある。かつて、塩屋地区は漁業、野口地区は農業が中心であったが、近年は会社勤めが増えている。校区にはいくつかの神社(王子神社・熊野(竹)神社)があり、秋の例大祭では地域の人々が集まって、大変な賑わいを見せる。 生徒数はここ数年かなり減少している。生徒たちは大変真面目で、授業・行事・部活動に意欲的に参加している。 本校の教育計画には、具体的実践として「豊かな心の育成」④地域社会の教育資源の活用を掲げており、地域教材・地域人材の活用を充実をはかるべく、各学年において講師を招いたり地域の人の講話を聞くなどの取り組みを行っている。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等(延人数)	主な活動場所
1 学年 1 年生 27 名	3 名 職員 3 名	本校・和歌山県世界遺産センター・熊野古道・熊野本宮大社
実践研究テーマ		
◎豊かな心の育成 (地域社会の教育資源の活用)		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間・道徳 (河南タイム)	(総合)校外学習～体験を通して歴史を学ぼう～ (道徳)「あっ、トトロの森だ!」・・・自然を愛する心	
〔キーワード〕 世界遺産・日本の伝統・奉仕の精神・自然を愛する心		
〔単元目標〕◎和歌山県にある世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について、より深く学ぶ。 ◎体験活動を通じて、世界遺産の意義・日本の伝統を守る心を育てる。 ◎人間が自然の中で生かされていることに気づき、自然を尊び、愛護に努めようとする態度を育成する。		
〔学習に当たった全学習時間数(世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名/教材名)〕		
全体 10 時間 ◎「世界遺産について知る」/ 和歌山なんでも帳(県教育委員会発行) ビデオ教材 2 時間 ◎ 校外学習・世界遺産センターにて、講義・熊野古道を歩く・道普請 6 時間(1 日) ◎ 事後指導・・・世界遺産センターおよび熊野古道で学んだこと・感想を書く。 1 時間 ◎ 道徳:「あっ、トトロの森だ!」 中学生の道徳(あかつき) 1 時間		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 ◎本校校区内の人材を活用する。8月には地震・津波・防災について阪本尚生氏より講義・調べ学習を行った。 ◎3年次には、和歌山高専の留学生との交流を予定している。 ◎地域学習として、近隣の神社・施設などの聞き取り調査を行う予定。		

実践に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> 熊野古道について(その1) ○熊野古道の位置・歴史について 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なところにある世界遺産について、あらましのイメージを持たせる。 ・今までの体験などを生徒同士で交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○和歌山県にある世界遺産に興味を持って取り組めていたか。(観察)
2	<ul style="list-style-type: none"> 熊野古道について(その2) ①熊野古道のルートについて知る ②映像(道の様子, 歴史等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県の地図等を使い, 位置等を示し, 方角や距離なども知らせる。 ・ポイントになる部分は, 映像を止めて説明を加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○古道に対する知識を深めることができたか。(観察・生徒同士の対話など。)
3 ～ 8	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産の成り立ちとその意義について知る。 ・フィールドワーク ・道普請 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気をつける。気になるスポットについては, その都度注意を向けさせる。 ・安全には十分気をつける。より積極的に作業ができるように声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○興味を持って講義を聴くことができたか。(観察) ○道普請など, 真面目に取り組むことができたか。(観察)
9	<ul style="list-style-type: none"> 事後指導 ①世界遺産とは? ②フィールドワークの感想を書く。 ③校外活動全体を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにそれぞれの感想・意見を書かせる。フィールドワークの行程を振り返りながら考えさせる。 ・自分の立場に立って考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界遺産についての意識を高められたか。 ○世界遺産の意義などをより深く考えることができたか(ワークシートなど)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・「あっ、トトロの森だ！」 ①貴重な自然を後世に残すためには? ②地域の身近な自然について, 意見を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが思う自然のイメージを重ね合わせてみる。校外学習での体験なども思い返しながら考える。 ・自分の地域にもそのような場所がないか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の尊さ, それを守ることの意義を実感できたか。(ワークシートなど)

〔単元学習の成果と課題〕

- <成果>
- ・生徒たちはとても興味深く学習活動に取り組むことができた。古道を歩くことで今までにない体験をした。
 - ・道普請の活動の意義をここが身をもって学ぶことができた。ボランティア精神というものを味わうことができた。
- <課題>
- ・生徒たちは, 地域に残されている大切な文化に触れる機会が少ないように感じる。
 - ・今後は地域でのフィールドワークを体験できるような時間を作れればと思う。

〔世界遺産学習の効果〕

- ・後述の感想にも載せてあるが, 世界遺産の必要性をしっかりと捉えている。社会の授業だけでは実感としてとらえにくい遺跡や名所も, 違う視点でとらえることにより, より深く知ることができたのではないか。
- ・和歌山県にも世界遺産があり, その壮大さの一部分でも目の当たりにできたことで, 自然・文化の大切さそれを守り続けることの意義を心に刻むことができたと思う。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

- ・本校の生徒のように, 柔軟な感性を持っている世代に, 今後もぜひ体験させてほしいと感じた。
- ・バーチャル的な感覚の持ち主が多いので, 学校などでも手軽に体感できるようなソフト?があると事前学習も深められるのでは。(教師も含め, 事前学習がなかなかできないのが実情である。)

様式 2

平成30年度 次世代育成事業における学習記録
◎生徒の感想 (抜粋)

[概要報告書 学習記録・活動写真]

1・道普請(熊野古道の整備・補習)を実際に行って感じたこと。

・雨で土が流れていってしまうと歩きにくくなるし、段差が大きくなってしまったと思った。水が道にたまっていると歩きにくかったので、そうじをして次の人たちが歩きやすくなってくれればいいな一と思う。

・昔の人はよくこんな道を歩けたなあと思った。木の根がたくさんあってこけそうになったことが何回もあった。石の色が場所によって違うところがあった。

・昔からの世界遺産だから、みんなで守っていく活動をしなきゃいけないんだと思った。初めてこのような体験をできて良かった。



・こういう機会は滅多にないので、新鮮味があってとても楽しかったです。くつずれは痛かったですが、無事下山(?)できたので良かったです！

・和歌山の世界遺産である熊野古道の整備ができてよかった。

・熊野古道を歩きやすいようにいろいろしてくれるのはありがたいなと思った。

・台風で階段にあった水を流す作業で、雨が降っていたので大変だったが、世界遺産を守るということは良いことだと感じた。これからボランティアがあったら参加して、和歌山県民として誇りを持ってしたい。

・熊野古道を実際に整備するのは正直、大変だったし、疲れましたが、自分のふるさとにある大切な世界遺産だということを知って、「この世界遺産を守り、未来に残していきたい。」と思えました。

・意外としんどくなかった。もっとそうじをしたくなった。途中で結構土がつまっていた。

・ほぼ自然そのままみたいな感じだったから、ボコボコして歩きづらかった。

・当日、朝から雨で整備ができるかどうかわからない天候だったけれど、整備をするときには、ほとんど晴れていて、整備ができた。泥などをほかす作業などが特に楽しかった。

・今回、熊野古道を歩いて感じたことは3つあります。一つ目は、昔の人はこんなにきびしいことをしていると感じました。二つ目は、石の色やならべ方に歴史を感じました。3つめは自然を感じたことです。

2・校外学習を体験して…感想をまとめよう！

・世界遺産を守ることはとてもいいことだと思うので、私も守っていきたくです。紛争・自然災害などでこわれかけている遺産があるというのは悲しかったです。・・・普段行くことがない世界遺産にいったことはいい機会だったと思います。

・中辺路という道は思っていたよりも幅がせまく歩くのが大変でした。そして思っていたよりも長くて疲れしました。

・熊野古道には、500mずつに目印をたてていて、わかりやすくしていてすごいなと思った。ボランティア活動に協力出来て良かった。

・私は山に登ることはできなかったけど、「校外学習」は、本当にすごくいい思い出になりました。・・・私が一度見てみたいなあと思った世界遺産は、「グレート・バリアリーフ」という遺産です。写真でもすごく綺麗だったので、一度見てみたいと思いました。

・世界遺産がなぜあるのか、どんな種類があるか、いつ始まったかなど改めてしれた。・・・実際に中辺路を歩いてみて、昔ながらの道だった。昔に戻ったような気がしておもしろかった。

・校外学習を体験した感想は熊野古道は昔から使われている道で、それが今も残っていて、今も通れるというのはすごいことだなと思いました。熊野本宮大社から鳥居が見える場所が“きり”がかかっているのがすごくきれいでした。・・・また機会があれば、次は外国の世界遺産に行ってみたくです。

・まず世界遺産講座を聞いて、「世界遺産の考え方が生まれるきっかけ」や「世界遺産の種類」など、初めて知ることがたくさんありました。・・・人類共通のかけがえのない宝物である世界遺産が自分のふるさとにあることを、誇りに思います。世界遺産を守り伝えていくことで、わたしたちが未来にどのような世界を残せるかにもつながっていきます。私も未来の世界のために世界遺産を守り、伝えていきたいです。

・50分間の話を聞いたときに出てきた『オカピ』が一番印象に残っている。初めて見て絶滅しそうになっていると知っておどろきました。見てみたいです。

・6つの道を何日かけてもいいから、すべての道を歩いてみたい。そして石にかかれてある数字をいくつまであるかを数えて、より熊野古道にふれたいと思った。

・僕自身、古い神社や遺跡などが大好きなので、今回の校外学習をとっても楽しみながら学習することができました

